

環境保全ニュースレター

発行 環境政策課 ☎：21-6737 FAX：21-6597

出雲市環境保全連合会

鵜鷺支部

実施日：令和6年6月16日（日）

参加人数：約100人

実施場所：鵜鷺地区全体



鵜鷺地区一斉清掃（クリーン鵜鷺）

●活動内容

6月環境月間にあわせて「クリーン大社」（大社地域一斉の清掃ボランティア活動）が行われました。鵜鷺地区では、6月16日（日）早朝から住民を中心に行われました。これに島根県立大学出雲キャンパスの学生や教員の有志、鷺浦マリーナに船を置くマリクラブのメンバー、鷺浦でお店や宿を経営される方も加わりました。皆さん総出で、青壮年のほか九十歳くらいの高齢者、四歳程の幼子も参加されました。高齢化率65パーセント程の鵜鷺地区で住民の参加率も高く素晴らしい取り組みと思います。県道23号線沿いの草取りやごみ拾い、八千代川の草刈り、マリーナ付近東浜や西の浜の海岸清掃、漁船で沖の浦まで出かけ漂着ごみを回収等々実施しました。鵜岬地区では、越目海岸や鵜岬漁港の海岸清掃、仏照寺境内の草取りが行われました。



●参加者の様子

活動後、鵜鷺コミュニティセンターで参加した大学生に話を聞きました。

「子どもからおじいさんまで三世代揃って家族総出で住んでいるふるさとをきれいにする姿に感動した。プロパンのボンベや不明な液体入りのポリ容器などもあった。危険物が漂着しないようにみんなで心がけた。海岸にプラスチックごみが多くあり、発泡スチロールが粉となって風が吹くと家中に入って来る。特に困っているといった話を聞いた。」



●感想・気づいたこと

この度のクリーン大社や学生達との反省会を機会に、ごみを出さない気持ちのよい暮らしをいっそう心懸けて自然環境を守っていきたく感じました。